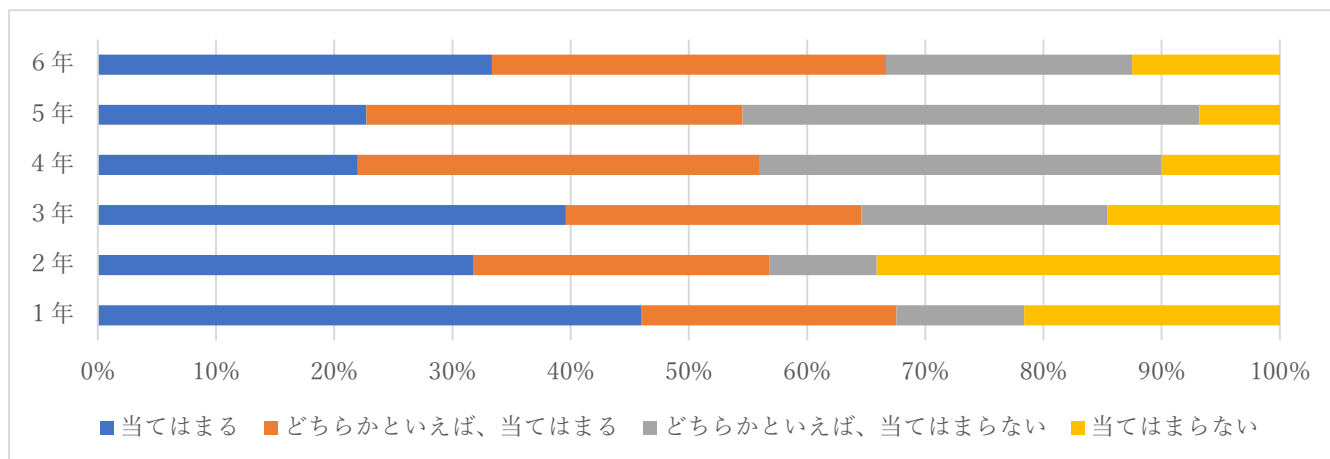


益子町では、町内の全小学校にて教育課程特例校として、小学校第1・2学年に「外国語活動」を設置する特別の教育課程を編成しています。低学年では、体を動かす活動を中心に、英語を楽しく慣れ親しむ活動ができるよう単元を構成し、思いや考えを伝えるコミュニケーション活動や英語による読み聞かせ等の活動を取り入れています。

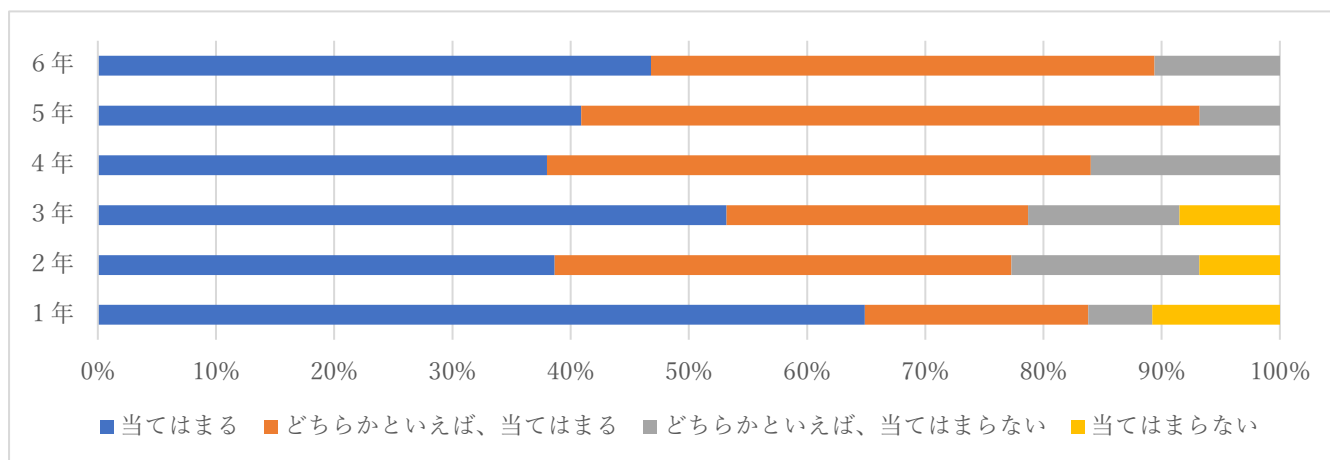
2 田野小学校児童アンケート結果（令和6年2月実施）

（1）児童の意欲について

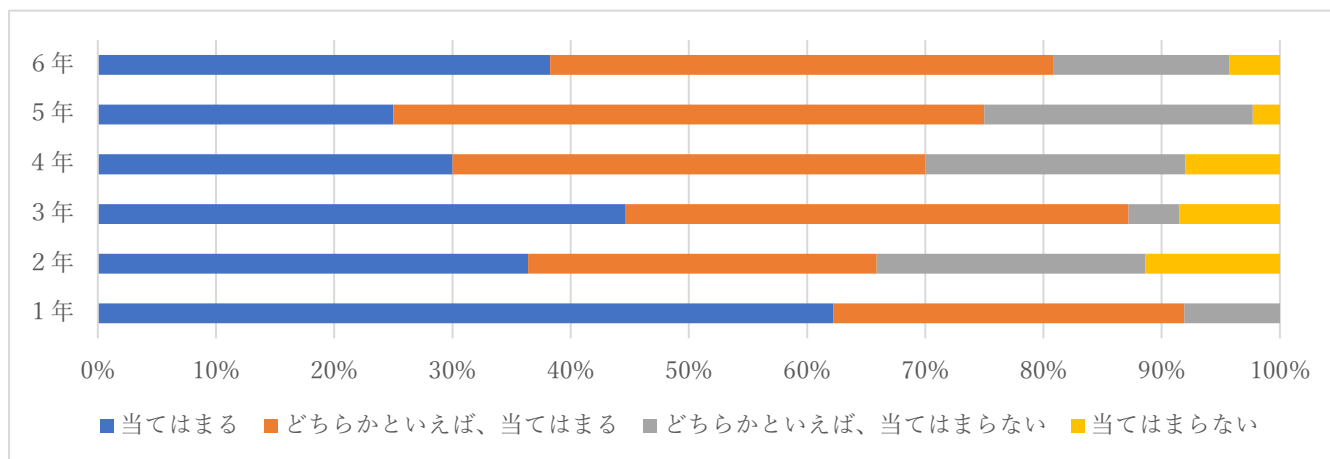
①外国語活動・外国語科の授業は好きである



②外国語活動・外国語科の授業に進んで参加している



③外国語活動・外国語科の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい



《成果》

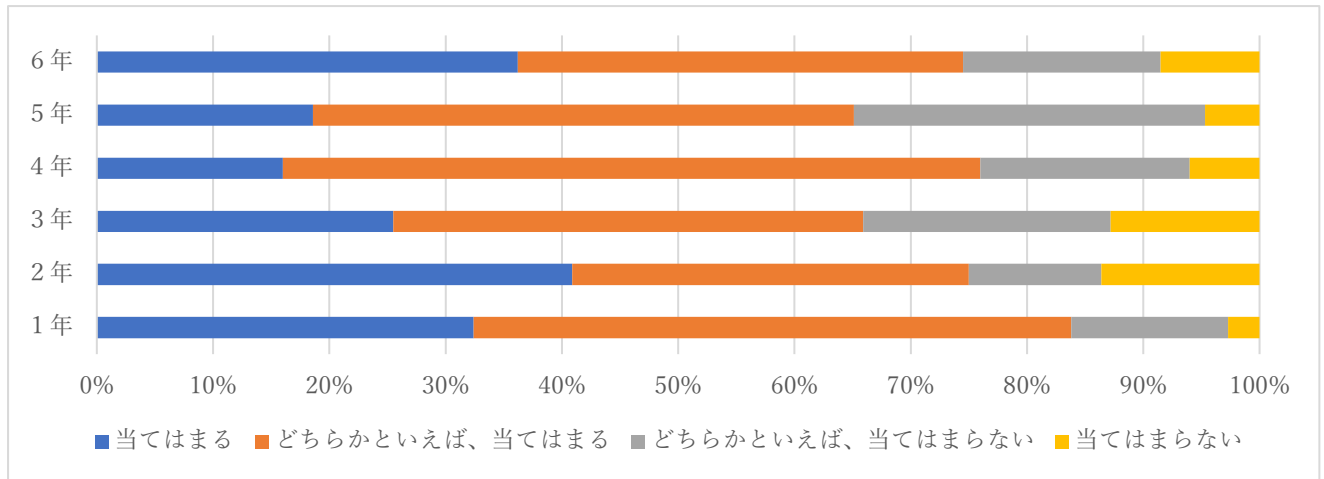
- ・全体を通して、どの学年も外国語活動・外国語科の授業に意欲をもって取り組んでいることが分かった。
- ・特に「外国語活動・外国語科の授業に進んで参加している」という項目では、肯定的な回答が全学年で約8割という結果になった。これは、授業の中にゲーム活動を取り入れるなど、新しい英語表現に慣れ親しむための教材の工夫により、児童が外国語活動・外国語科の授業の楽しさを感じることで、学習意欲の向上につなげていくことができたと考えられる。
- ・また「外国語活動・外国語科の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい」という項目では、肯定的な回答が全学年で7割～9割程度の結果となった。これは、児童が伝えたいと思える言語活動を設定し、ALTや友達と英語を使った会話を行うことで、コミュニケーションをとることの楽しさを感じることでできたと考えられる。

《課題》

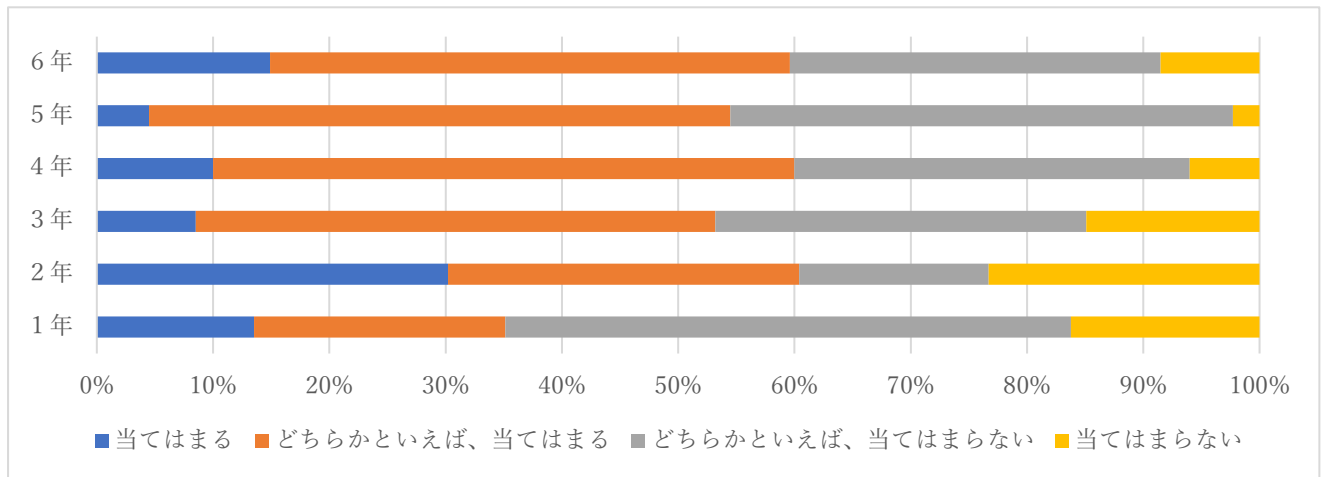
- ・「外国語活動・外国語科の授業は好きである」という項目に関して、肯定的な回答が6割程度であった。英語表現の難しさや、活動でのやりとりに対する抵抗などから、苦手意識を持った児童が多く見られたと考えられる。コミュニケーションの楽しさを感じさせることで、言語活動への抵抗を減らし、児童が楽しいと感じられる授業を展開していくことが重要であると感じた。
- ・1・2年生は学級担任とALTが授業を行っている。一方、3年生以上では、英語専科教員とALTが授業を行っているので、より専門性の高さを生かした授業を展開することができる反面、クラスの実態に応じた授業を展開しにくい面がある。そこで、英語専科教員と学級担任が密に連携を図ることで、クラス全体、また個々の児童の実態を捉えた授業ができるようにしていきたい。

(2) 児童の英語力やコミュニケーション力について

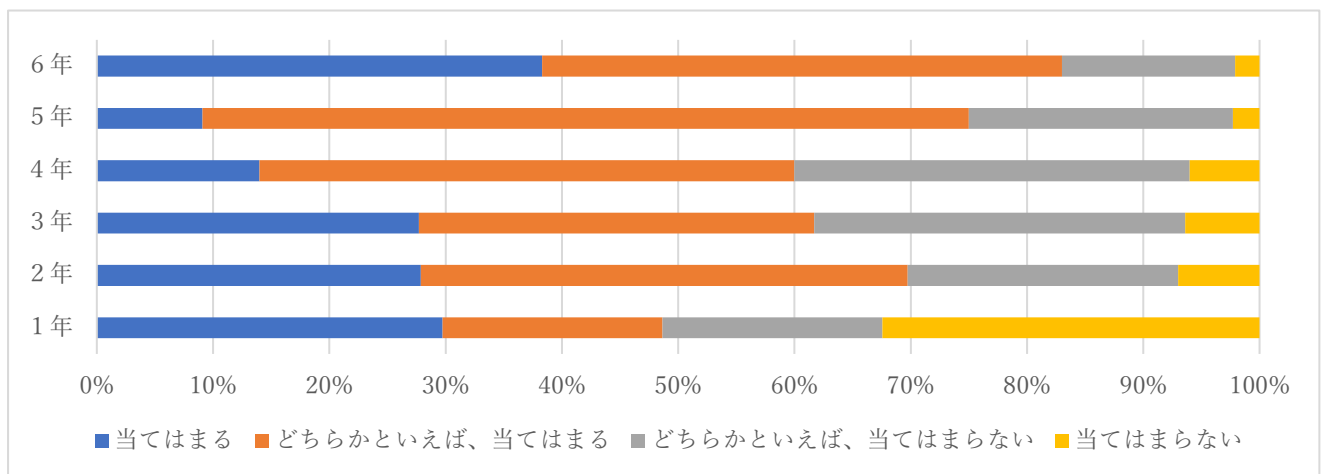
①授業で、英語専科や担任の先生、友達が使う英語の意味がわかる



②授業で、ALT が使う英語の意味がわかる

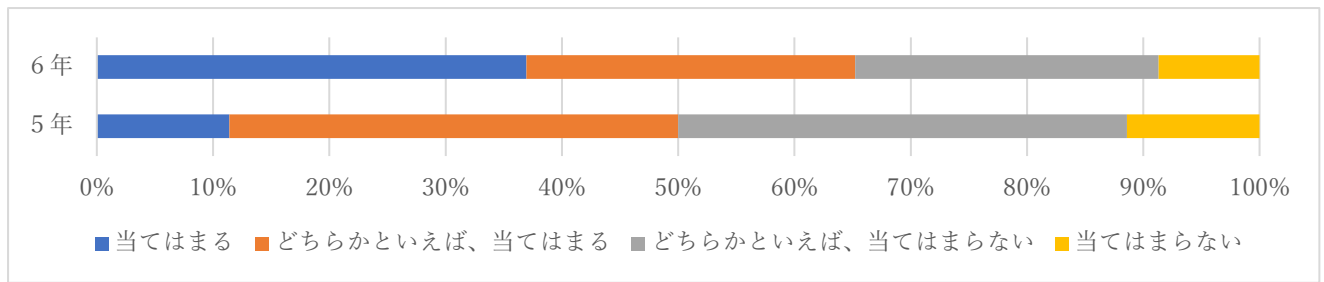


③友達に英語を使って自分の考えを伝えることができる



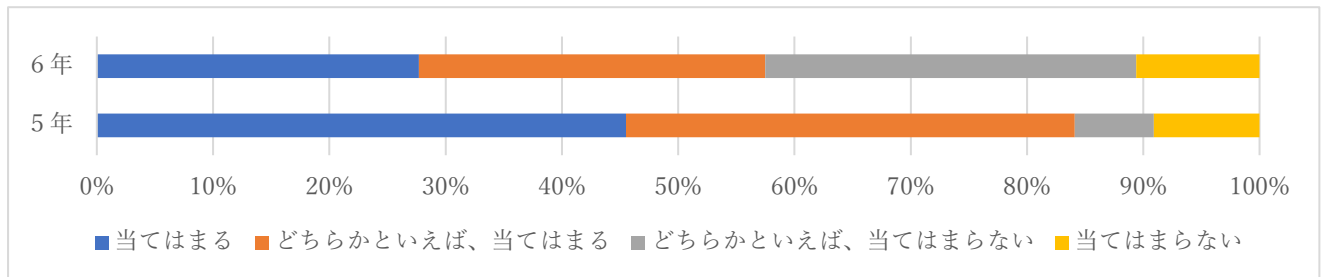
④5年生 英語で書かれた名前や教科書に出てくる言葉を読むことができる

6年生 教科書に書いてある英語の文を読むことができ意味がわかる



⑤ 5年生 アルファベットの大文字・小文字や簡単な単語を書くことができる

6年生 教科書や例文を見ながら、自分が伝えたいことについて英語で文を書くことができる



《成果》

- ・英語を話す・聞く・伝える・アルファベットを書くことなど、英語表現を使った学習活動に自信をもって取り組むことができた児童が多かった。入学してから各学年で身に付けるべき学習目標をもとに継続的な指導を行うことにより、児童が慣れ親しんだ英語表現の幅を広げていくことができたと考えられる。
- ・「授業で、英語専科や担任の先生、友達が使う英語の意味がわかる」という項目に関しては、約7割の児童が肯定的な回答をしている。このことから、指導者と児童及び児童同士の英語でのコミュニケーションが成立しつつあると考えられる。

《課題》

- ・「ALTが使う英語の意味がわかる」という項目では、全体的に肯定的な回答が低かった。ALTが話すネイティブな英語表現を授業の中で効果的に生かしながら、よりスムーズな言語活動を行うことができるようにしていきたい。そのために、ALTの英語を英語専科教員や担任が説明を加えながら行っていくことで、ALTが使う英語への理解を促すことができるようにしていきたい。
- ・外国語活動から外国語科へ移行した5年生では、アルファベットの大文字・小文字や簡単な単語を書くことができる児童が8割以上であった反面、6年生では、英作文を書くことに苦手意識をもつ児童が増加していた。タブレットPCの活用により、ローマ字に触れる機会が増えたが、なかなか自分の伝えたいことを文章化することは苦手としているため、簡単な文章から書けるようにしていき、苦手意識を減らしていくことができるようにしたい。